

第21回 全日本カッター 競技大会



日時 昭和52年5月29日(日) 09:00~16:00

(雨天決行)

場所 神奈川県横須賀市馬堀沖

主催 全日本カッター連盟

当番校 防衛大学校

後援 日本放送協会

横須賀市教育委員会

デイリースポーツ新聞社

第 21 回 全日本カッター競技大会

主 催 全日本カッター連盟

当 番 校 防衛大学校

後 援 日本放送協会

横須賀市教育委員会

デイリースポーツ新聞社

(順不同)

日 時 昭和52年 5 月29日 (日曜日)

午前 9 時から午後 4 時まで

(雨天決行)

会 場 神奈川県横須賀市

馬堀沖

第 21 回 全日本カッター



競技大会を迎えて

防衛大学校長 猪 木 正 道

本年も全国海事関係大学のご参加を得て、ここに第21回全日本カッター競技大会を開催する運びになりましたことはご同慶の至りと存じます。

二百海里時代を迎え、国民の海洋に対する関心がとみに高まりつつありますときに当り、海を愛する諸君が一堂に会し、平素からつちかったおう盛な気力と強じんな体力をもって技を競うことは誠に意義深いものがあります。

カッター競技は海に生きる男のもっとも伝統的かつ男性的な競技であります。どうか諸君が正々堂々と健闘し、そして海の男の友情で固く結ばれるよう願ってやみません。

最後に本大会を開催するにあたり、種々御援助、御配慮を賜わりました各位に対して、深甚の謝意を表します。

昭和52年 5 月

大 会 役 員

会 長	防衛大学校	学校長	猪 木 正 道
副 会 長	防衛大学校	幹 事	加 藤 誠 一
顧 問	海 技 大 学 校		長 畑 司
	海上保安大学校		津 田 考 則
	鹿 児 島 大 学		狩 俣 忠 男
	神奈川歯科大学		佐 藤 金 治
	神 戸 商 船 大 学		奥 村 宗 行
	水 産 大 学 校		橋 本 市 雄
	電 気 通 信 大 学		松 岡 籙 之
	東 海 大 学		佐 藤 治 夫
	東京商船大学		中 嶋 保 司
	東京水産大学		柳 川 三 郎
	長 崎 大 学		柴 田 恵 司
	日 本 大 学		薬師神 利 晴
	防 衛 大 学 校		宮 崎 誠 一
	三重県立大学		関 口 秀 夫

大 会 委 員

大 会 委 員 長	左近允 尚 敏
運 営 委 員	宮 崎 誠 一
審 判 委 員	蛇 穴 清 治

過 去 の 成 績

回	年月日	場所	参加校 チーム	優 勝	2 位	3 位
1	32.6.23	東 京	8	東京水産大学	東京商船大学	神戸商船大学
2	33.5.25	神 戸	10	東京水産大学	水産大学校	東京商船大学
3	34.6.7	呉	11	水産大学校	海上保安大学校	東京水産大学
4	35.6.15	横須賀	10	神戸商船大学	水産大学校	海上保安大学校
5	36.5.28	神 戸	11	東京水産大学	水産大学校	三重県立大学
6	37.5.27	館 山	10	東京商船大学	防衛大学校	水産大学校
7	38.5.19	呉	11	東京水産大学	海上保安大学校	神戸商船大学
8	39.5.10	館 山	11	神戸商船大学	海上保安大学校	東京商船大学
9	40.5.16	神 戸	11	神戸商船大学	防衛大学校	水産大学校
10	41.5.15	横須賀	11	海上保安大学校	防衛大学校	三重県立大学
11	42.5.14	呉	11	防衛大学校	海上保安大学校	三重県立大学
12	43.5.19	館 山	11	防衛大学校	神戸商船大学	海上保安大学校
13	44.5.23	呉	9	防衛大学校	東京商船大学	海上保安大学校
14	45.5.17	館 山	12	防衛大学校	長崎大学	海上保安大学校
15	46.5.16	神 戸	12	防衛大学校	神戸商船大学	鹿児島大学
16	47.5.21	横須賀	13	防衛大学校	海上保安大学校	神戸商船大学
17	48.5.20	呉	12	海上保安大学校	東京水産大学	東京商船大学
18	49.5.11	館 山	13	長崎大学	海上保安大学校	水産大学校
19	50.5.18	館 山	12	神戸商船大学	防衛大学校	海上保安大学校
20	51.5.16	神 戸	13	神戸商船大学	長崎大学	東京水産大学

行 事 日 程

1. 主 将 会 議

- (1) 日 時 昭和52年 5 月28日(土) 14:00～16:00
- (2) 場 所 防衛大学校 学生会館小ホール
- (3) 参加者 参加校 主将及びマネージャー
大会委員
- (4) 議 題 競技大会実施要領の事前説明
組合せ、コース及び使用艇の抽選
その他 調整事項

2. 競 技 大 会

- (1) 日 時 昭和52年 5 月29日(日) 09:00～16:00
- (2) 場 所 横須賀市馬堀沖

3. 連 盟 会 議

- (1) 日 時 昭和52年 5 月29日(日) 17:00～19:00
- (2) 場 所 防衛大学校 学生会館小ホール
- (3) 参加者 加盟校 顧問、主将及びマネージャー
大会委員
- (4) 議 題 次期当番校の決定
本大会の反省
その他 懸案事項

ク ル ー 名 簿

海 技 大 学 校

(注) ◎印 主将 ○印 マネージャー

顧 問 長 畑 司

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
艇指揮 ◎	千 葉 明	航海 2	163	53	弓削商船	愛媛
艇 長	濱 端 幸 博	〃 1	161	60	八代工	熊本
1	星 勝 一	〃 1	175	65	一関一	岩手
2	金 谷 範 夫	〃 1	168	72	館 山	東京
3	橋 本 現 吉	機 1	165	56	那玩湊水産	茨城
4	松 嶋 光 男	航 1	173	60	門 司	長崎
5	宇 都 洋 文	機 1	167	72	〃	鹿児島
6	胡 口 敏 雄	航 1	173	75	福島工専	福島
7	伊 崎 道 和	機 1	170	64	門 司	長崎
8	及 川 秀 雄	航 1	178	66	宮城水産	宮城
9	荒 井 清	機 1	170	64	安房水産	千葉
10	朝 田 健	航 1	169	60	城 北	東京
11	木 村 誠 一	機 1	172	64	七 尾	石川
12	富 樫 弘	〃 1	172	64	小 樽	山形

海 上 保 安 大 学 校

(注) ◎印 主将 ○印 マネージャー

顧 問 津 田 考 則

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
艇指揮	滝 良 伸	通信工学 3	167	65	名古屋学院	愛知
艇 長	長 嶋 貞 暁	航海 3	166	65	筑紫中央	福岡
1	井 手 淳二郎	〃 2	173	63	〃	〃
2	佐 藤 清 隆	通信工学 2	171	68	福 島	福島
3	井 上 雅 英	航海 2	176	68	久留米大学付属高	福岡
4	赤 津 洋 一	〃 2	170	57	本 庄	埼玉
5 ◎	御 池 俊 郎	〃 4	175	73	堀 川	京都
6	黒 木 喜 年	〃 4	173	65	宇 佐	大分
7	木 原 克 己	機関 3	182	83	薬園台	千葉
8	坂 栄 雅 之	通信工学 3	178	78	松江北	島根
9	長谷川 義 明	〃 2	178	70	多 摩	神奈川
10	宮 尾 努	航海 2	174	65	広島基町	広島
11	鈴 木 敏 弘	〃 3	165	60	石 巻	宮城
12	不 嶋 和 久	〃 4	165	63	七 尾	石川

ク ル ー 名 簿

鹿 児 島 大 学

(注) ◎印 主将 ○印 マネージャー

顧問 狩 俣 忠 男

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
艇指揮	藤 重 博 己	漁業 3	168	65	宇部中央	山口
艇 長	国 枝 俊 一	水産 2	167	58	光 陵	神奈川
1	河 野 幸 一	製造 3	165	70	柳川商業	福岡
2	杉 本 靖	水産 2	176	68	戸 畑	〃
3	山 中 有 一	〃 2	174	68	武 蔵	東京
4	久 留 利 栄	増殖 3	165	63	鶴 丸	鹿児島
5	内 山 正 樹	漁業 3	175	63	中 央	〃
6	野 添 秀 志	製造 3	170	68	錦江湾	〃
7 ◎	長 南 牧	〃 3	175	68	加茂水産	山形
8	森 永 晃 一	経営 3	176	69	錦江湾	鹿児島
9	朽 見 健一郎	水産 2	177	70	枚 方	大阪
10	佐 藤 久 哉	〃 2	172	73	加茂水産	山形
11	米 田 幸 考	〃 2	165	55	大 島	鹿児島
12	田井村 健 次	〃 2	167	63	鹿 屋	〃
補	橋 井 猛	〃 2	165	55	宇和島水産	愛媛
補	高 田 敏 幸	〃 2	177	67	大牟田北	福岡
補	島 村 孝一郎	〃 2	174	65	玉 名	熊本
○	畔 野 尚 史	〃 2	168	68	八 幡	福岡

神 奈 川 歯 科 大 学

(注) ◎印 主将 ○印 マネージャー

顧問 佐 藤 金 治

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
艇指揮 ◎	浜 田 慶 一	歯科 5	170	60	関東六浦	神奈川
艇 長	井 上 昌次郎	〃 5	174	65	津 山	岡山
1	斉 藤 英 二	〃 3	180	67	延岡西	宮崎
2	加 藤 克 輔	〃 3	168	63	日本学園	東京
3	佐 藤 信	〃 2	174	65	福 岡	岩手
4	河 合 茂 樹	〃 2	166	60	成 章	愛知
5	青 木 宏 和	〃 2	170	65	厚 木	神奈川
6	篠 塚 嘉 昭	〃 2	175	65	京 北	東京
7	金 坂 親 司	〃 3	172	65	長 生	千葉
8	恵 谷 潤 三	〃 2	174	70	金 光	岡山
9	問 宮 靖	〃 1	170	55	小田原	神奈川
10	鈴 木 信 義	〃 2	183	68	福島北	福島
11	板 倉 茂 行	〃 4	170	50	松江北	島根
12 ○	山 本 一 人	〃 3	170	55	笠 岡	岡山
補	小見山 勇 藏	〃 3	175	65	〃	〃

ク ル ー 名 簿

神戸商船大学

(注) ◎印 主将 ○印 マネージャー

顧問 奥村宗行

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
艇指揮	鈴木勝行	航海 4	167	61	御影	兵庫
艇長	古莊雅生	〃 4	167	63	松江北	島根
1	森本恭昭	〃 3	174	66	追手門学院	大阪
2	中馬幸藏	〃 3	166	68	出水	鹿児島
3	矢野吉治	〃 3	171	67	高田	大分
4	藤本純二	〃 3	176	65	北条	兵庫
5	堤盛保	原子動力 3	174	63	宇治山田	三重
6	高手和広	航海 3	176	65	唐津東	佐賀
7 ◎	肥後屋穰治	原子動力 4	174	65	猶興館	長崎
8	山本明	航海 4	178	65	花園	大阪
9	坂部好彦	機関 2	185	73	橋本	和歌山
10	李光秀	航海 2	176	70	明星	大阪
11	森崎賢一	原子動力 3	160	59	竜野	兵庫
12	岡田泰和	航海 3	164	56	岡山大安寺	岡山
補	楠生恒	〃 3	168	58	高津	大阪
補	片山哲三	〃 3	163	55	三島	〃
補	益原威司	〃 3	169	62	市岡	〃
補	吉間満雄	〃 2	172	64	三国ヶ丘	〃
	○永田都志雄	〃 4	167	57	昭和	名古屋

水産大学校

(注) ◎印 主将 ○印 マネージャー

顧問 橋本市雄

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
艇指揮	宮田泰司	漁業 3	173	68	塔南	京都
艇長	坂井健裕	〃 3	168	63	長崎西	長崎
1	高野正樹	機関 2	176	72	東郷	愛知
2	松岡重継	〃 2	170	62	亀山	三重
3	赤瀬良	〃 3	170	65	伯方	愛媛
4	相原正則	〃 2	171	70	サレジオ	神奈川
5	丹野裕二	〃 3	176	70	私立神港	兵庫
6 ◎	財津正隆	漁業 3	176	73	筑紫中央	福岡
7	田中正信	機関 3	182	80	朝倉	〃
8	浮田保文	製造 3	180	75	松阪工業	三重
9 ○	戸田英明	機関 3	171	73	香椎	福岡
10	今川孝之	漁業 3	175	73	春日井	愛知
11	宮浦淳	増殖 2	165	65	四条畷	大阪
12	鹿野哲夫	漁業 3	175	62	蔵	埼玉
補	青木靖	〃 2	170	63	江戸川	東京
補	柴田紀彦	〃 2	169	75	昭和	〃
補	柳沢利政	〃 2	166	65	蔵	埼玉
補	穴戸隆司	機関 2	178	70	豊多摩	東京

ク ル ー 名 簿

電 気 通 信 大 学

(注) ◎印 主将 ○印 マネージャー

顧問 松岡 頼之

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
艇指揮 ◎	弓 田 長 政	電波通信 3	170	67	田 島	福島
艇 長	麻 田 直 人	通信専攻 1	175	70	小樽桜陽	北海道
1	佐 藤 信 之	電波通信 4	168	66	宮城水産	宮城
2	高 頭 征 之	〃 4	168	66	函 館 東	北海道
3	渋谷 吉 久	通信工学 4	171	69	茨 城	茨城
4	浜 田 明	電波通信 3	173	70	川 内	鹿児島
5	石 山 寿 昭	情報処理 3	179	73	新 座	埼玉
6 ○	栗 田 茂	電波通信 2	172	68	練 馬	東京
7	鈴 木 茂 尋	〃 2	167	65	攻玉社	長崎
8	塩 塚 清 三	通信専攻 2	166	65	五 島	兵庫
9	白 木 一 夫	〃 1	179	73	尼崎東	北海道
10	櫛 引 一 弥	〃 1	182	73	留 萌	愛知
11	石 川 進	〃 1	171	67	名古屋市立北	秋田
12	菊 地 昭 治	〃 1	168	65	由利工	秋田
補	小川原 均	〃 1	173	68	羽 幌	北海道

東 海 大 学

(注) ◎印 主将 ○印 マネージャー

顧問 佐藤 治夫

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
艇指揮	梶 野 重 則	航海工学 4	166	58	東海大五	福岡
艇 長	吉 武 邦 彦	海洋科学 4	175	80	〃	〃
1	新 中 義 男	航海工学 3	175	54	市立舟入	広島
2	倉 垣 秀 基	〃 3	168	57	築上中部	福岡
3	花 田 泰 利	海洋土木工学 3	173	75	東海大五	〃
4	内 川 育 也	航海工学 3	176	67	鳥 取 西	鳥取
5	阿久津 秀 夫	〃 3	171	75	都立駒場	東京
6 ○	田 村 寿 伸	海洋工学 3	170	68	早稲田	〃
7 ◎	後 藤 大 輔	航海工学 3	174	63	名大附属	愛知
8	小 野 隆 義	〃 3	176	63	聖光学園	静岡
9	松 崎 友 治	海洋 3	174	63	東海大附属	東京
10	舟 橋 直 登	航海工学 3	172	65	津 島	愛知
11	河原木 一	〃 3	170	60	東海大附属	神奈川
12	小 坂 嘉 信	〃 4	174	70	明 星	東京
補	川 尻 伸 治	〃 4	175	67	東海大一	静岡
補	堀 川 清 波	海洋科学 4	172	60	〃	〃
補	山 本 茂 徳	海洋科学 4	174	61	東海大五	福岡
補	水 本 誠 一	〃 4	166	65	西宮東	兵庫
補	青 木 正 吾	海洋土木工学 4	171	65	東海大五	福岡

ク ル ー 名 簿

東京商船大学

(注) ◎印 主将 ○印 マネージャー

顧問 中嶋保司

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
艇指揮 ○	松 岡 隆	機関 4	167	67	横須賀高	神奈川県
艇 長	塚 本 浩 二	航海 3	169	67	岐山高	岐阜
1	田 村 卓	〃 3	178	70	宮崎大宮高	宮崎
2	宮 山 幸次郎	〃 2	173	70	横浜平沼高	神奈川県
3	中 島 洋	〃 4	175	75	玉名高	熊本
4	中 村 重 孝	機関 4	182	80	鳥羽商船高校	三重
5	岩 本 直 人	航海 2	181	82	上野高	東京
6 ◎	西 部 昭 如	〃 4	178	76	魚津高	富山
7	石 本 勇一郎	機関 3	179	83	木本高	三重
8	宮 里 隆 春	〃 4	183	85	甲南高	鹿児島
9	細 越 敬一郎	航海 2	176	70	八戸北高	青森
10	中 井 武	〃 3	174	73	三国ヶ丘高	大阪
11	山 本 信 良	機関 3	172	71	田園調布	東京
12	五 井 猛	〃 2	175	72	富岡高	群馬
補	山 岸 昭 人	〃 3	178	73	札幌南高	北海道
補	田 中 英 二	航海 3	170	70	〃	

東京水産大学

(注) ◎印 主将 ○印 マネージャー

顧問 柳川三郎

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
艇指揮	小 堀 彰 彦	増殖 4	171	68	聖 光	神奈川県
艇 長	小 林 伸 久	漁業 4	168	65	立上田	長野
1	林 泰 夫	漁業生産 3	165	62	東 邦	愛知
2	保 延 良 一	〃 3	170	65	甲府南	山梨
3	高 橋 直 行	漁業生産工学 2	174	68	小石川	東京
4	鈴 木 寛 文	〃 2	172	70	滝 川	北海道
5	中 村 等	海洋環境工学 3	173	68	青 森	青森
6	永 田 司	〃 3	170	70	酒田東	山形
7 ○	菅 野 雅 彦	漁業 4	176	82	九 段	東京
8	北 村 英 雄	食料生産工学 4	176	80	富岡西	徳島
9	菊 田 省 一	選科 3	176	72	気仙沼	宮城
10 ◎	鈴 木 徹	食料生産化学 4	176	72	大 森	東京
11	大 山 茂	増殖 3	171	68	浦和西	埼玉
12	橋 本 昇	漁業生産 3	166	65	杉 並	東京
補	入 谷 靖 明	〃 2	174	68	宝 塚	兵庫
補	長 田 芳 穂	海洋環境工学 2	165	60	桜 兵	横浜
補	福 沢 博 司	漁業生産工学 2	175	70	福 岡	福岡
補	川 本 博 文	海洋環境工学 2	175	60	夢野台	兵庫
補	菅 原 敬	漁業生産工学 2	168	65	仙台第二	宮城

ク ル ー 名 簿

長 崎 大 学

(注) ◎印 主将 ○印 マネージャー

顧問 柴田 恵 司

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
艇指揮	森 敬 輔	生産 3	172	60	佐世保北	長崎
艇 長	淡 井 敏 夫	開発 3	163	60	桃山学院	大阪
1	安 楽 力	生産 2	173	65	錦江湾	鹿児島
2	真 野 欽 也	〃 2	166	62	三谷水産	愛知
3	堀 川 浩 司	開発 2	172	70	東住吉	大阪
4	岩 政 陽 夫	〃 2	179	77	柳 井	山口
5	○鉛 山 茂 久	〃 3	163	59	加世田	鹿児島
6	濱 村 琢 哉	海技 3	174	64	鹿児島水産	〃
7	◎池 田 紳 一	〃 3	173	75	土 佐	高知
8	山 田 英 行	開発 3	170	63	長崎北	長崎
9	徳 田 正 典	〃 3	172	69	鹿 屋	鹿児島
10	田 崎 英 雄	食糧 3	167	65	宇和島水産	愛媛
11	黒 田 洋 介	〃 3	170	57	野 村	〃
12	上 田 弘 幸	〃 3	170	58	玉 名	熊本
補	緒 方 誠 治	〃 2	170	65	長崎東	長崎
補	沓 野 浩 誠	開発 2	173	70	鹿 本	熊本
補	高 橋 勝 宏	〃 2	175	71	郡 山	奈良

日 本 大 学

(注) ◎印 主将 ○印 マネージャー

顧問 薬師神 利 晴

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
艇指揮	栗 山 敬 輔	水産 4	163	57	日大桜丘	神奈川
艇 長	野 村 福 美	〃 4	172	65	〃	東京
1	浅 野 勝 昭	〃 2	171	60	山口水産	山口
2	榎 本 暁	〃 2	170	63	日大鶴丘	東京
3	幸 田 幸 一	〃 3	166	61	加茂水産	山形
4	中 西 一	食経 3	177	64	日大大垣	岐阜
5	内 田 正 幸	水産 4	175	65	県立大津	山口
6	◎岡 村 政 美	〃 4	166	60	山口水産	山口
7	戸 丸 隆 幸	農化 3	170	70	日大藤沢	神奈川
8	村 田 嘉 宏	水産 3	175	72	山口水産	山口
9	井之本 聡	〃 2	177	68	横須賀学院	神奈川
10	山 下 朗	農化 3	171	60	日大三島	静岡
11	菅 沼 章	〃 2	163	55	〃	〃
12	酒 井 弘	水産 3	162	52	日大桜丘	東京
補	金 子 長 奉	農化 2	171	61	岡山日大	岡山

ク ル ー 名 簿

防 衛 大 学 校

(注) ◎印 主将 ○印 マネージャー

顧 問 宮 崎 誠 一

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
艇指揮	金久保 和 司	航空工学 4	169	64	古河三	茨城
艇 長	小 畑 明	電気 4	160	58	宇 土	熊本
1	中 川 孝 彦	電気 3	169	69	池 田	徳島
2	近 藤 日出男	機械 2	172	68	西大寺	岡山
3	堀 憲 之	航空工学 3	176	63	東工大附	東京
4	柴 崎 豊	応用物理 3	165	65	佐 沼	宮城
5 ◎	小 松 龍 也	機械 4	175	73	橘	静岡
6	山 下 智 史	国際関係論 3	173	66	矢 部	熊本
7	菅 原 光 彦	電機 2	188	87	仙台二	宮城
8	高 橋 満 人	電機 3	170	67	新 津	新潟
9	向 井 一 馬	応物 4	178	68	神 崎	佐賀
10	小 梅 三津男	機械 2	177	72	函館ラサール	北海道
11	浦 井 申 司	機械 3	167	60	白 河	福島
12	岩 佐 祐 一	電機 4	169	70	夕日丘	大阪
補	石 塚 達 也	機械 2	171	63	札幌西	北海道
補	小 原 慎 久	機械 2	170	68	花巻北	岩手
補	藤 井 一 隆	機械 2	177	70	札幌南	北海道
	○ 元 島 洋 治	応用化学 4	168	60	島 原	長崎

三 重 県 立 大 学

(注) ◎印 主将 ○印 マネージャー

顧 問 関 口 秀 夫

	氏 名	科・学年	身 長	体 重	出 身 校	出身県
艇指揮	平 野 勝 久	食糧 4	165	58	刈 谷	愛知
艇 長	玉 置 一 人	〃 4	174	60	昭 和	〃
1	小 林 茂 太	海洋生産 4	175	62	東住吉	大阪
2	向 井 良 吉	〃 2	167	58	明 和	愛知
3	上 田 省 三	増殖 2	175	60	明 星	大阪
4	豊 田 弘	食糧 3	170	61	〃	〃
5	中 元 章 博	海洋生産 4	172	67	寝屋川	〃
6	一 岡 衛	増殖 2	170	65	池 田	〃
7	西 條 徹	機械材料 3	173	62	東 郷	愛知
8	加 古 永 治	〃 3	174	62	横須賀	神奈川
9	井 狩 康 宏	海洋生産 3	173	62	沿 東	京都
10 ◎	玉 田 晴 久	〃 3	170	61	天王寺	大阪
11	大 槻 昌 弘	〃 2	170	60	阿倍野	〃
12 ○	阿 弥 一 起	〃 2	170	60	和 泉	〃
補	永 田 衛 一	機械 4	168	60		

レースの手引

本大会に使用される艇は長さ9m12人漕ぎのカッターである。求命艇として使用されるものであるが一般のそれは艀艇同型であるのに対し、艀を切落して外観は普通の舟艇と変わらない。外板鍔張りの木製で、オール12本（各々長さ約4.3m、握りの直径76cm、重さ10乃至15kgである）マスト、セール等の艀装品を備え帆走も可能である。漕手はCrewと呼ばれ、艇尾より艇首に向かって艀右側の者が1番、同じく左側の者が2番、以下交互に3・4～11・12番と続き、1、2番をBowmen、11、12番をStrokemenと称している。Strokemenは撓漕のピッチを加減する任務を持つ。艇尾で舵を握るのが艇長で指揮号令をかけ指揮するのが艇指揮である。艇指揮は艇のすべての指揮を行い船長に相当する。

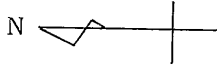
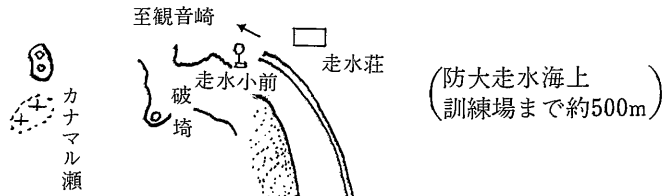
レース距離は折返し2000mの直線コースで行なう。各艇の艇首が一直線に並んだ時、号砲の信号を以ってスタートし、スタートラインより1000mの所に設置された各コース毎の回頭旗を、艇をこれに接触させずに左回り（反時計回り）に回頭して帰ってくる。即ちスタートラインがそのままゴールラインでゴールは艇首がゴールラインに達した時とする。予選は各グループ4又は5チームで実施する。

各グループの優勝チーム及び敗者復活戦で1位及び2位となった計5チームによって最後に優勝戦が行なわれる。レースはいづれも時間的ずれによる海況の変化等の影響のためにタイムレースでなく着順位である。ピーチ（1分間に漕ぐ回数）は大体30前後であるが各チームとも漕法の研究を重ねているので必ずしも一定ではなくそれぞれ特色のある漕法によるピッチを持っている。レース所要時間は10分余であるが、しかし救命艇という性質上、いかなる荒海でもレースは行なわれ、そのような場合には30分にも及ぶことがある。カッターレースは10分余の間、一瞬といえども息を抜くことを許されず、しかもクルー全員の呼吸が完全に一致しなければならない。レースの見所は、ピッチをいくらに定めるか、スタートダッシュ、回頭、ラストスパートの巧拙、風浪、海潮流の対策、利用の巧拙等たゆまぬ練習、シーマンシップを完全に身につけた者が初めて克服できる実技を兼ねた、最も豪快な海のスポーツである。

審判規則

- 1 使用艇、オール及びコースはレースの都度抽選により決定する。
- 2 スタート
 - (1) 各艇は指定の時効、コース順に従い、スタートラインに整列する。
 - (2) 5分前をマイクにより通達スタートブイにつく。ブイにつき用意が完了したら艇長は陸上の審判員に手を挙げて合図する。
 - (3) スタート用意：号笛短声連続、手旗2原画、号笛長一声手旗頭上より一回転する。
 - (4) スタート：頭上の手旗を垂直に振下すと同時に号砲を打つ。
- 3 審判長、審判員がスタートを不完全と認めたときは直ちにレースを中止せしめ、スタートラインに呼び返す。
諸信号、審判艇コース横断。
- 4 スタートにおける号令前の飛び出し及び艇の事故によるスタートの遅速等は2回で失格である。
- 5 回頭は左回頭とする。回頭は指定の回頭旗を回頭するものとし、他の回頭旗を回頭した場合及び回転旗に艇またはオールの一部でも接触した場合は失格である。
- 6 ゴール：艇首が規定のゴールラインに入った順序をもって順位とし順序は審判員が判定する。
- 7 同着の場合は追込艇の勝とする。
- 8 ゴールイン時のスタートブイタッチは失格としない。
- 9 各艇は自己のコースを航行しもしこれを誤って他の艇に接触その他不正行為があったと審判員の認めたときには失格とする。
- 10 レース中のコースにおける障害、自艇の故障等は他艇の不正な接触を除く他各艇自らこれを忍ぶべきものとする。しかし審判長の判断によりこの限りでないときもある。
- 11 レースに関する異議申立等はすみやかに艇指揮がこれを行い、審判長が裁決する。
- 12 オールは予備2本を積み自由に使用してよい。
- 13 補欠は2名以内自由に交替できる。
- 14 オールは流したままゴールインしてよい。

会場付近略図

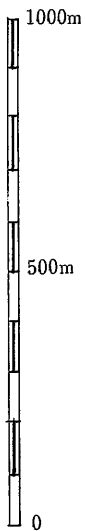


会場への交通便

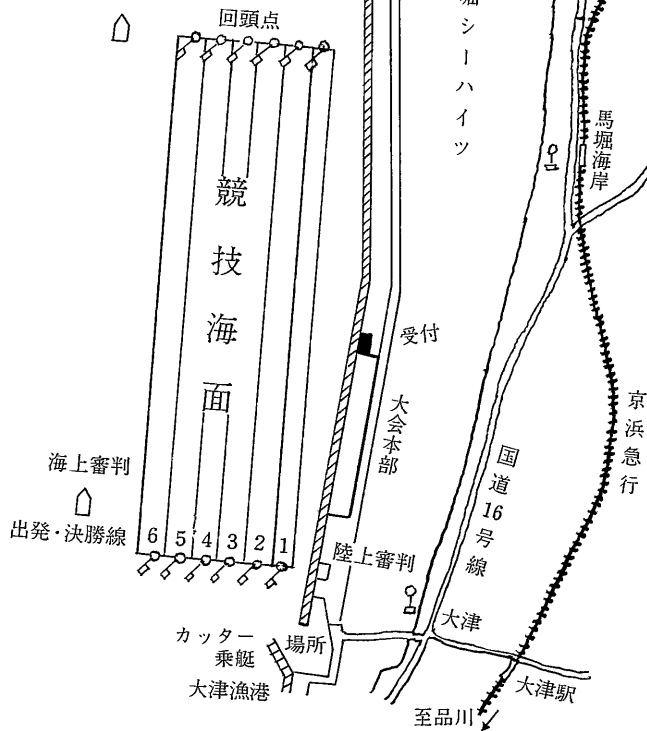
1. 京浜急行 大津駅下車
2. 横須賀線 横須賀駅から
観音崎行又は防衛大学行バス
大津下車

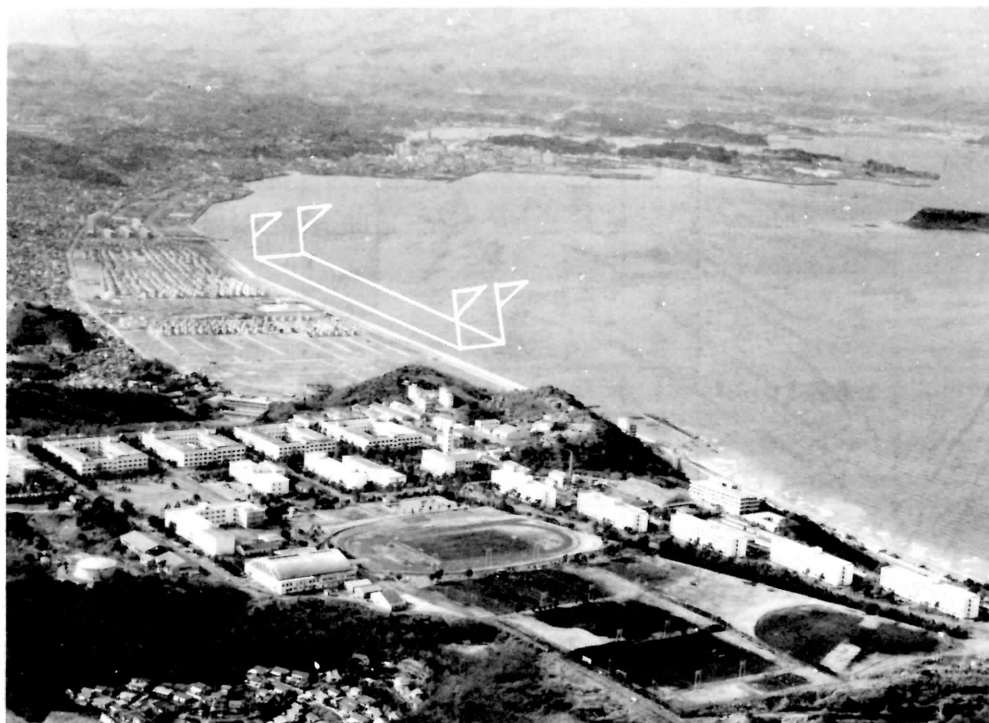
黒部

イガイ根



1
13,000





防衛大学校から競技海面をのぞむ

防衛大学校は、陸・海・空・各自衛隊の幹部自衛官となるべき者を教育訓練する学校で、防衛庁の附属機関として昭和27年8月に設置され、昭和28年4月から学生を一般から採用しています。

なお、昭和37年4月には理工学研究科（一般大学の大学院修士課程相当）が設置され、学生は防衛庁の職員から選抜により入校させています。

MEMO

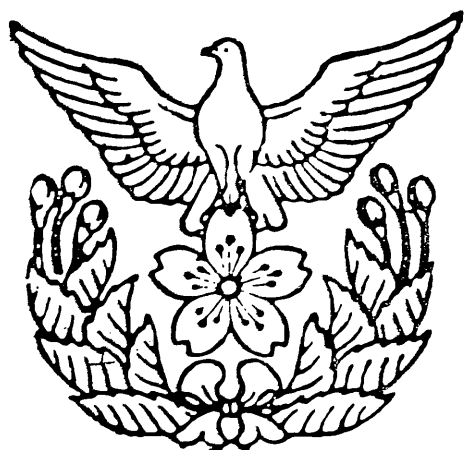
天候

風向

風速

波浪

時 刻	種 目	コース	校 名	艇	着 順	タ イ ム
0900	開 会				式	
1000	予選第1レース	1	神 歯 大	33	5	11'-56" 失格
		2	東 海 大	51	3	11'-43"
		3	海 括 大	21	4	12'-13"
		4	神 船 大	41	2	10'-29"
		5	海 保 大	42	1	10'-14"
1045	予選第2レース	1	東 船 大	42	4	10'-52"
		2	日 大	41	5	11'-38" 8
		3	長 大	33	3	10'-31" 1
		4	水 大	51	2	10'-27" 8
		5	防 大	21	1	10'-16" 2
1130	予選第3レース	1	東 水 大	51	2	11'-04" 6
		2	三 重 大	21	3	12'-00" 6
		3	鹿 大	41	1	10'-57"
		4	西 通 大	33	4	12'-20" 1
昼 食 ・ 休 憩						
1330	敗者復活レース	1	長 大	51	3	10'-31" 2
		2	東 水 大	21	4	11'-05" 8
		3	神 船 大	42	1	10'-22" 8
		4	水 大	41	2	10'-30" 2
		5	東 海 大	33	5	11'-45" 8
1415	順位決定レース	1	日 大	51	3	11'-29" 3
		2	神 歯 大	34	4	11'-30" 8
		3	海 括 大	33	6	13'-05" 4
		4	西 通 大	42	5	11'-40"
		5	東 船 大	21	1	10'-42" 8
		6	三 重 大	41	2	11'-16"
1510	決 勝 レ ー ス	1	水 大	51	5	10'-48" 5
		2	防 大	21	3	10'-25"
		3	鹿 大	41	4	10'-48" 8
		4	神 船 大	42	2	10'-16" 4
		5	海 保 大	33	1	10'-13" 2
1545	閉 会				式	



編集 / 発行 防衛大学校

制作 六甲出版 03(404)9661

